

平成30年度
赤穂市立赤穂中学校
「学校だより」

荒神台

NO.59 (終刊号)
平成31年3月22日発行
文責 校長 (平井 正彦)

うつわ こころの器

3.11 生徒集会：校長講話より

時折、何となく腹が立つとか、イライラしているとか、いつもは何でもない言葉が、耳障りに感じることはありませんか。また、勉強しているとき、途中からやる気がなくなったり、勉強内容が頭に入らなかったりすることはありますか。



それは、みなさんの中にある「こころの器」が一杯になって、溢れ出しているからです。

人は、目には見えない器（うつわ）を自分の心の中に持っています。器の大きさは、人によって違います。器の大きい人は、たくさん水が入り、器の小さい人は、少しの水で一杯になり、それ以上入れても、器から溢れ出てしまいます。



楽しいことや苦しいこと、うれしいことや悲しいこと、我慢すること、待つこと、驚くことなど、いろいろな出来事が起こるたびに、こころの器にどんどんたまっています。

一杯になるまでは、落ち着いて自分の気持ちをコントロールできますが、溢れ出すとコントロールできなくなります。そうなると、イライラしたり、興奮したり、暴力的になったり、相手に暴言を吐いたり、大きな声を張り上げたり、物を壊したりすることも多くなります。

では、こころの器を大きくするには、どうすれば良いのでしょうか。

それは、人の話をしっかり聴くことです。相手の話を黙って聴けば聴くほど、器はどんどん大きくなっていきます。そして、辛いことや苦しいことが起こっても、溢れることがなくなります。つまり、相手の気持ちを自分の器で受け止めることができるようになっていくのです。



それでは、こころの器に溜まった水は、どうすれば少なくなっていくのでしょうか。その一つは、自分に自信を持つことです。いろいろなことに挑戦し、経験を積むことで、自分に自信が持てるようになれば、器の水

は、素早く体の中に吸収されていきます。

もう一つは、相手に自分の気持ちや思いを素直に伝えることです。つまり、だれかに自分の気持ちを話し、聴いてもらうことで、溜まっている水は聴いてくれる人の器へ移動し、自分の器の水は減っていくのです。

阪神淡路大震災や東日本大震災、そして、熊本地震や倉敷の豪雨災害など、命からがら逃げのびた人たちは、自分の目の前で人が命を失っていく光景を、すべてこころの器で受け止めることができません。ほとんどの人が器から溢れ出し、眠れなかったり、突然思い出したり、パニック状態だったと思います。



そして、避難所生活が始まり、時間の経過とともに、少しずつ気持ちが落ち着いてきたのです。

ボランティアが避難所で活動するときは、被災者の気持ちや思いをしっかり聴くことから始めます。それは、被災者の器に入りきらない、溢れる分をボランティアの器で受け止めるためなのです。

こころの器は、人の話をしっかり聴くことで大きくなり、いろいろな経験を積み重ね、自分に自信を持つこと、そして、素直に自分の気持ちを話すことで、器の水を少なくしていくことができます。



今日は『3.11』、8年前に東日本大震災が起こり、津波の恐怖に日本中の人のこころの器から、多くの水が溢れ出た日です。

死者が1万5897人、行方不明者2533人、日本各地への避難者約5万2千人です。

また、今日は、東日本大震災で亡くなられた多くの人とその家族に「弔意」を表す日でもあります。

町や地域の復興と、被災者の心の復興、そして、破壊された原子力発電所の解体処理が、1日でも早く進むよう、祈るばかりです。



平成31年度当初の主な行事

- 4/ 8(月) 離任式・着任式・始業式
- 4/ 9(火) 入学式
- 4/12(金) 歓迎行事【弁当】
- 4/18(木) 全国学力・学習状況調査
- 4/20(土) 参観日、PTA総会【弁当】
- 4/21(日) 坂越中招待野球
- 4/22(月) 代休
- 4/23(火) 家庭訪問～4/26(金)
- 4/27(土) 連休～5/6(月)
- 5/12(日) 市民体育祭(第2部)代休5/13
- 5/16(木) 1年野外活動(HAP)～5/17(金)
- 5/20(月) 3年修学旅行：沖縄～5/22(水)

※ 予定のため、変更になる場合があります。

公立高校 一般入試 3/12 合格者数 (発表 3/19)

学校名	学科	男	女	計
赤穂高校	普通	26	13	39
〃 (定時制)	普通	1	3	4
相生高校	普通	2	5	7
龍野高校	普通	4	0	4
相生産業	電気	1	0	1
〃	商業	0	2	2
上郡高校	普通	1	1	2
〃	農業	1	1	2
〃	園芸	0	1	1
〃	農土	4	0	4
佐用高校	普通	1	0	1
〃	農業科学	5	0	5
姫路西高校	普通	0	1	1
姫路東高校	普通(単)	0	1	1
姫路南高校	普通	1	0	1
市姫路高校	普通	0	2	2
明石高専	都市システム工学科	1	0	1
計		48	30	78



不要物を学校へ持ち込む生徒が増えています。

昨年の秋と言えば、体育祭の学級練習が始まり、教室での授業より、運動場で過ごす時間が増えていた頃です。また、夏休み明けでもあり、休み中の生活習慣から、学校モードに切り替えができていない生徒が多い時期でもあります。

その頃から、食べ物(菓子類)、ゲーム機、スマホ、コミック本など、「不要物」の持ちこみが目立ち始めています。

塾に持って行ったカバンにアメや菓子を入れたまま学校へ持って来て、取り出すことを忘れ

ていたという場合や、校内や登下校中に食べようと故意に持ってきた場合など、いろいろですが、最近は授業中にスマホの着信メロディが流れることも数回ありました。

「音が鳴らないようにしておけば、誰にも迷惑をかけていない」と開き直す生徒もいますが、誰にも迷惑にしなければ、何をしてもよいのかということです。生徒には、集団生活に必要なルールや社会生活のマナーを無視しても、平気でいられる大人には成長して欲しくないのです。



春休み、新学期と、気持ちの切り替えが求められる時期がやってきます。

ご家庭でも、不要物を持ち込もうとしていないか時々、点検していただきますよう、お願いいたします。

学校だより「荒神台」の 終刊にあたり



4年間にわたり、「荒神台」をお読みいただき、ありがとうございました。平成27年5月18日に創刊号(N0.1)を発行して以来、赤穂中学校の生徒の様子や学校の実状などと合わせて、保護者や地域の方に考えていただきたいこと、子育てのヒント、生徒や先生の思い、そして、校長のつぶやきなど、形式にこだわることなく「学校が何を考えているのか」をお伝える通信として発行してまいりました。



しかし、限られた紙面に、あれもこれもと詰め込みすぎて、見にくいところが多かったことと思いますが、辛抱してお読みいただき感謝いたします。

終刊の発行にあたり、みなさんに何をお伝えしようか迷いましたが、若い頃に先輩の先生から教えていただいた「こころの器」について記述することといたしました。



生徒には、先日の集会で、その一部分だけ話しましたが、少し難しいところもあります。ぜひ、保護者の方から、噛み砕いてお子様にお伝えいただくようお願いいたします。

最後になりましたが、みなさまのご健勝を祈念するとともに、赤穂中学校へのさらなるご支援をお願いし、終刊にあたっての「つぶやき」とさせていただきます。

